



● 今月の主な内容

- 100周年ニュース、イベント 2～3ページ
- 市交通バリアフリー基本構想、市交通局情報 4～5ページ
- 相談窓口のご利用を、市町村合併 6～7ページ
- 市民のひろば、思い出の一枚 8～9ページ

[特集] 9月6日は「水を大切にする日」 10～13ページ



真夏の太陽の下、ことしにもぎわいをみせた
西海アメリカンフェスティバル

9

月号

2002 September (No.622)

広報
させぼ

9月1日発行



《市章》明治44年（一九一一年）10月制定。
させぼの文字を組み合わせたものです。
市名はさせぼと読みます。

〒857の8585（市役所専用）
長崎県佐世保市八幡町1の10
佐世保市役所企画調整部秘書課広報係
☎0956-211111 FAX 21184

アップール Now

市老人作品展に夫婦の
共同作品を出品
井上 豊さん・ヨシさん



熱心に作品に見入る来場者
（島瀬美術センター）

「紅白双梅の絵」を出品



掛軸「紅白双梅の絵」

「市老人作品展」は、高齢者の趣味や、長年の経験を生かした作品を発表する場として、毎年開催されています。32回目を迎えたことは、絵画や手芸品など約百点が来場者の目を惹きました。

第5回から毎年欠かさず出品している若葉町の井上さんは、夫婦で力を合わせて作った掛け軸などを出品しました。

「長崎にいる親戚から、『お茶をたてるときに飾る梅の絵を、ぜひ描いてほしい』と頼まれました。肩を壊してしばらく掛けずいたところ、老人作品展のことを思い出しました。一日でも早く完成させて、本人に喜んでもらおうと思つと、精が出ましたよ」と豊さん。

「お父さんは、我流で好きなように絵を描くんですよ」と話すのは、掛け軸づくりを担当した妻のヨシさん。その掛け軸に丹念に絵を描いた豊さんは、「白梅を男性、紅梅を女性に見立てて、夫婦が仲



夫婦田満の秘けつ

むつまじく手をつないでいるイメージで、枝が交わる構図にしました。自分でも気に入っています」と、目を細めます。

ことし結婚66周年を迎えた井上さんご夫婦。豊さんは91歳、ヨシさんは89歳です。ヨシさんの米寿のお祝いに二人で作った掛け軸には、高砂で松葉とほづきを手にした二人の姿が描かれています（写真左）。「妻はこれまでよく働いて支えてきてくれました。夫婦田満の秘けつは、お互いをよく理解し合うこと。何かを言うときには、まず相手の気持ちを考えないとね」と豊さん。

激動の時代を支え合ってきたお二人。今は、穏やかに流れる時間をゆっくりと楽しんでいるようです。

テレホンガイド

救急・火災

● 医療機関案内 ☎23・81999

● 火災情報 ☎0180・9999・9999

● 女性相談（アルカスASSEMBO 2階・スピカ）☎24・6180

● 水曜と祝日を除く毎日、9～16時

● 教育相談（青年教育センター）☎22・0077

● 毎月第2、4木曜の17時30分～20時30分には、夜間相談も受け付けます

● エイズ相談（保健所健康づくり課）☎0120・104・7833

● 健康テレホン（県保険医協会）☎23・43000 ※3分間のテープで

● 祝日は前日の内容が流れます

● ▼月生活習慣病 ▼火心肺蘇生

● 法一般の人が行う救急法 ▼水おしこの感染症 ▼木緑内障

● ▼金歯石はどうして取らなさい

● けないの？ ▼土、日休閉

● 観光テレホンサービス ☎23・3130

こちら広報係

はじめまして（K）です。取材の現場でカメラのフィルムの取り出し方が分からず無理に取り出して写真をダメにしたり、誤った記事を掲載したりと失敗ばかりの私も、優しい（厳しい？）同僚のおかげでなんとかがんばっています

「広報させぼ」は再生紙を使用しています。

印刷／有限会社 近代印刷